

熊本学Ⅲコース

歴史と文化の交差点 九州のへその魅力を発見 ～山都町 2万5千年の歴史を紐解く～



平成17年に誕生した山都町。その歴史は、2万5千年前に人が生活し始めた頃から始まります。現在は、文楽と石橋の郷として知られていますが、歴史を辿れば地理的特性を生かした交通・交易の要衝として繁栄した歴史があります。

本講座では、その歴史と名跡を辿りながら、当時の様子と人々の生活、そして熊本地震からの復旧について学び、山都町の魅力を再発見します。

第1回 阿蘇大宮司家の居館「浜の館」 ～阿蘇大宮司家の栄枯盛衰から～

山都町教育委員会 生涯学習課
学芸員 西 慶喜 先生

山都町の地勢、阿蘇氏の沿革、そして、浜の館と阿蘇氏の関連性について学びました。身近な地域でありながら初めて知ることばかりで、とても有意義な時間を過ごしました。

第2回 商人の道 「日向往還」 ～くらしを支えた古道～

株式会社マインド
代表取締役 大村 祐二 先生

熊本市から日向・延岡へ至る旧藩時代の古道「日向往還」について学びました。参勤交代の道ではなく商人（民間人）たちの道であり、「民の文化」があふれる地域だったと知り、現代の山都町へとつながっていることに感銘を受けました。

第3回 豊年満作祈願 「八朔祭」 ～祭りに込められた思い～

山都町郷土史伝承会
田上 彰 先生

1758年に始まった八朔祭について学びました。当時の祭りとの関係性から、現代における祭りの実態まで知ること、八朔祭がいかに地域にとって欠かせない位置づけであったか、長きに渡り地域住民に根付いているかを知りました。

第4回 熊本地震に耐えた通潤橋 ～大地に潤いを与えた水路橋～

山都町教育委員会 生涯学習課
学芸員 大津山 恭子先生

これまでの講座を振り返りながら、山都町における通潤橋や、熊本地震前後の変化を学びました。県民にとってシンボルの1つである通潤橋が、時代を超えて人々の中に存在していることを痛感しました。

第5回 農民文化「清和文楽」 ～今も受け継がれる魂～

清和文学館
学芸員 東美香先生
太夫 竹本友清先生

清和文学について学んだあと、太夫竹本先生による庄巻の浄瑠璃を鑑賞！
臨場感のある実演に会場中が魅了され、贅沢な時間を過ごしました。



受講生の感想

- ・三味線の演奏が大変良かった。生の太夫の語りを初めて聞いて良かった。
- ・知らなかったことがわかって楽しかった！
農村にこんなに迫力ある芸術が伝えられたことに感動！
毎回楽しみに参加しています。
- ・熊本学では、熊本の地域の事、知らないことを学ぶことができます。
- ・講師の方の知識量には毎回おどろかされます。
- ・毎回、学びや気づきがあり、とても楽しかったです。又、是非参加したいと思っています。